

### 平野 管子 議員

公明党



防災

#### 災害時の対応の見直しについて

**議員** 現在防災会議に占める女性委員は1割。今後女性や災害弱者の声を反映させるためには、各種団体・職種から選出された最低3割の女性委員の登用が必要。また女性の視点での地域防災計画の見直しや避難所運営マニュアルの改正が必要では。

**市** 女性委員3割、防災計画・避難所マニュアルも改正。新たに看護師等が加わり、女性職員は8名となり約3割であるが、さらに登用を図りたい。防災計画は、女性に対する配慮や、市民にわかりやすい避難情報の発令等を盛り込む、避難所運営マニュアルも、市民が活用できるように見直す。(浮田総務部長)

**他の質問** 市長公約と三田版総合戦略、プロジェクト5の取組み

### 北本 節代 議員

無会派の会



再開発

#### 中心市街地活性化基本計画について

**議員** Cブロックの事業化に向けて、市、権利者及び事業者の負担軽減のため、計画策定し、補助金活用必要性を伺う。

**市** 各種支援制度活用を検討

事業成立には、国等からの補助金は重要な収入源であり負担軽減を図る上でも、各種支援制度は十分に活用していく必要があると考えている。今後事業計画の具体化に合わせ各種支援制度を検討し、三田駅前再開発事業の集大成であるCブロック地区の完成に向けて尽力する。(市長)

**他の質問** インフルエンザ予防対策、休日応急診療センターの夜間開設、教職員の指導力向上

### 厚地 弘行 議員

新政みらい・維新



市政

#### 森市長の施政方針とロードマップについて

**議員** 森市長の掲げる夢、安心、元気の3つの柱と、5つのプロジェクト、日本一住みたいまちへ邁進されるよう期待する。その実行計画、ロードマップにつ

いてたずねる。

**市** 10月には地域戦略室を設置する

地方創生など重要プロジェクトを推進するために、地域戦略担当理事を配置し、三田版総合戦略など全体的な施策をコントロールしていく。実施計画(ロードマップ)は総合戦略や、28年度予算編成、第4次総合計画後期基本計画を策定するなかで明らかにする。(市長)

**他の質問** 市の三大課題、つつじが丘の内科医不在

### 長谷川 美樹 議員

日本共産党三田市議団



調査

#### 福祉法人三翠会 使途不明金問題の真相究明を

**議員** 多額の税金が使われた社会的立場の福祉法人で、1億円ともいわれる使途不明金問題は有ってはならないこと。この間の調査内容と不明額を明らかにし、市が責任を持って真相究明することが必要と考える。

**市** 現体制で法人への調査・指導を維持していく

本件は未だ調査中で不明額等確定情報を持っていない。また地域福祉を揺るがす大きな問題と認識しており、第三者委員会と県・市の体制維持で同法人への調査・指導を維持していく。(岩越健康福祉部長)

**他の質問** 生活困窮者自立支援法、地域経済活性化と生活が維持できる雇用の確保、防衛相による住民基本台帳閲覧と名簿提供

### 中田 初美 議員

日本共産党三田市議団



福祉

#### 障がい者団体活動への広報支援の充実を

**議員** 障がい者団体では高齢化等で会員が激減している。団体の方は「色々な集いの開催や新しい企画も実施・宣伝しているが、個人情報保護等の関係で新規会員の獲得が難しい」とのこと。宝塚、伊丹市のように福祉ガイドブック等での団体紹介など支援すべきと考える。

**市** 周知方法を検討する

当事者や関係者など情報を必要としている人に対し、情報が届くよう障害者制度の説明冊子に団体情報を掲載するなど周知の仕方について検討する。(岩越健康福祉部長)

**他の質問** 子育て支援策としてロタウィルスワクチン接種の公費助成導入、指定管理後の市立図書館の運営課題

# 平成27年 9月定例会の結果

議員数=22名 表決参加議員数=21名 ※議長は表決には加わりません。

赤字=議員が提出した議案 その他=市長提出議案

＜8月25日～9月16日／会期23日間＞ 9月定例会には市長提出議案24件が提出されました。また委員会提出議案1件、意見書案1件、請願1件、陳情2件についても審議しました。(陳情は採択しません)

## 議案第66号 三田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号通知カード及び個人番号カードについて、その再交付に係る手数料を定めるに当たり、当該条例の一部を改正しようとするもの。



「行政手続における特定の個人を識別するための番号」とは、国がすすめるマイナンバー制度により国民一人一人に割り当てられる番号のこと。平成27年10月から各個人に通知される。

反対 可決に 賛成



【日本共産党三田市議団】  
長尾、長谷川、國永、中田

【市民の会】西上、美藤、檜田、坂本、家代岡  
【新政みらい・維新】多宮、佐貫、田中(一)、厚地  
【公明党】大西、松岡、平野 【盟政会】森本、福田、今北  
【無会派の会】田中(秀)、北本

### 議案第66号反対討論

当議案は、マイナンバー制度の導入に伴い条例を定めるものであるが、先の年金の情報漏えいに見られるように、国の情報管理はまずであると言わざるを得ない。スマートフォンでのマイナンバー利用なども謳われているが、セキュリティ管理はどうするのか。不正利用など個人情報の流出によりもたらされる被害は深刻である。さらに、発育著しい幼～少年期の写真を使ったカードでは本人確認が難しく成り済みがしやすい危険な状態と言えるが、この対策はとられていない。また、特に子どもや認知症高齢者のカードは紛失の心配があり、再発行手数料は無料として市民負担を軽減すべき。

(日本共産党三田市議団 長谷川美樹)

### 議案第66号賛成討論

マイナンバー制度が情報リスクの観点から危険であるという意見については、先の6月議会で三田市議会から国に対し、個人情報の厳重管理体制の整備を求める意見書を提出したように、国は措置を講ずべきものとする。個人番号カード等の初回交付手数料については国庫補助があるため無料となるが、紛失等によるカードの再交付は総務省の定めた交付手数料相当経費が必要となるため、現時点ではやむを得ない措置と考える。国民の利便性の向上、行政の効率化、公平、公正な社会実現をめざすマイナンバー制度導入に伴う条例整備は制度運用上必要であり、当議案は適正なものとする。

(新政みらい・維新 佐貫尚子)

## 全議員が賛成した議案等(可決、同意、採択、継続)

予 算	平成27年度三田市一般会計補正予算(第3号) など予算案件3件
条 例	三田市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について 三田市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について など条例案件5件
そ の 他	市道路線の認定について などその他案件3件、人事案件3件、意見書案1件 平成26年度三田市一般会計歳入歳出決算認定について など認定議案10件
請 願	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請を求める請願書1件

議案内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。